

人と人のつながり大切に、
古い伝統に新しい命を写し出す、
「なにわの名工」受賞
市川写真場の市川雅樹さん。

市川 雅樹 × 知美 × 凛 × 志音 × お腹の赤ちゃん

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.3

UP! SPECIAL
HAPPY is
FAMILY

80年の伝統、
4代続く池田の老舗写真館。
就職したら嫁になっていた。
結婚8年目のシアワセ家族。



次は絶対に男の子を産んで欲しい。とヤンチャ坊主のように駄々をこねる雅樹さん。「えっ、4人も?」「ええやんか」
お店の入り口には二人の娘さんの写真がたくさん並んでいる。
どれもステキでかわいい写真である。パパが愛情を込めて撮れば感動する写真になる。その写真を見てお客様が安心する。

阪急池田駅前に(株)市川写真場はある。約東の少し前にスタジオを尋ねると、大きなお腹をした奥さん(知美30歳)が出てきてくれた。「こんにちは」こぼれるほどの笑顔である。「10ヶ月です。明後日に帝王切開するんですよ」(笑)3人目のお子さんの誕生である。長女は凛さん(りん7歳)、次女が志音(しおん3歳)奥から聞こえた声は雅樹さん(41歳)「今度は男の子が欲しかったんですが、どうやら女の子のようです」(笑)

二人のなりそめは、知美さんが写専を卒業して市川写真場に就職。その2年後に結婚。もちろん、雅樹さんも写専の卒業生で年の差は11年。きっと、雅樹さんは彼女をスタッフとして採用したのではなくて花嫁候補として迎えたのだろう。すぐに長女が誕生で、現在は10ヶ月。なにかとコミュニケーションはスムーズです。
優れた職人に与えられる大阪府優秀技能者「なにわの名工」という名誉ある賞を11月に受賞した。街の写真屋さんには地域社会に貢献するというの大きな軸になっています。「ここも80年の歴史がありまして、わたしで4代目なんです」スゴイことです。お金に振り回される商売でなくて、ご近所とのコミュニケーションを深く、濃くしているという。「やっぱり、人の幸せを写すのが商売ですから、人と人の繋がりが大切ですね」ステキな理念であり、彼の生活の知恵でもある。「伝統に驕ることなく、常に命を吹き込む写真を撮り続けたいですね。少しずつですが常に進化し続けたいです」
出されたコーヒーを頂きながら、新しくリニューアルしたスタジオで長話になった。そのスタジオでは二人の子どもたちがボールで遊ぶ。遊び場がスタジオっていうのも写真館ならではですね。そうやって子どもたちが親の仕事をまじかに見ながら育つ。もう3ヶ月もすれば子どもたちの笑い声はスタジオいっぱい広がるのだろう。